

## むすびにかえて

本書は、秋山慎太郎先生がシカゴ大学 Advanced IBD fellowship で経験した症例をもとに、エビデンスに基づいて IBD 患者さんを治療していく過程を 1 冊にまとめたものである。本書を読み終えた読者の皆さんは、あたかもシカゴ大学の Advanced IBD fellowship を経験した気分になっているのではないだろうか。しかし、本書のすごさは一度読んだだけでは、きっと分からない。本書では、日常臨床でよく遭遇する症例を中心に提示されており、読者の皆さんも同じような症例を今後必ず経験することになる。そういったときにこの本を読み返すと、秋山慎太郎先生とディスカッションしながら治療を決めているような錯覚を覚え、それが実体験として身に染みていくことになるだろう。そういった経験をすることで、その症例を通じて秋山慎太郎先生が伝えたかったことが初めて腑に落ち、読者の皆さんの IBD 診療能力として身につけていくことになると思う。

本書は症例提示だけではなく、最初の総論では、IBD の基礎的な知識から治療の考え方が、非常に分かりやすくまとめられている。そして、本書の随所には日常診療において欠かすことのできない Tips が満載されており、読めば読むほど様々な学びを得ることができると思う。こういった Tips は成書にはなかなか書かれていないことが多く、実際の臨床現場を再現したこの本ならではの特徴である。

本書は、秋山慎太郎先生の IBD 診療にかける情熱、そしてエビデンスに裏付けられた経験が詰まった 1 冊であり、IBD の初学者必携の教科書になっていると確信している。また、初学者のみならず、IBD 診療に携わる全ての医師にとっても、多くのことを学ぶことができるはずである。ぜひ、本書を常に傍らにおいて、日々の IBD 診療に役立ててほしい。そして、目の前の患者さんにとって最善の治療を行うために役立ててほしい。

2022 年 6 月

監修者 松岡克善

東邦大学医療センター佐倉病院